

We are

とっとりじん

われら「鳥取人」

県内在住の外国出身者に鳥取に住んで
感じることなど紹介していただきます!

日本へ出発!

2007年、27歳だった私は南アフリカのポート・エリザベスに住んでいました。日中は会計事務所で、夜は社交ダンスのスタジオで働いていました。会計の仕事をガリガリしていたけれど、つまらない。そこで、「この仕事はいつでもできるから若いうちにどこかへ行こう。でもお金はあまりない。じゃあ、海外で仕事を見つけよう!」こう思ったのです。

当時、母校の大学で週一回ほど夜の授業に通っていたのですが、ある日、大学で「JET Program」という文部科学省による募集ポスターを見つけました。申し込みの締め切りは1か月後です。「これだ!これなら絶対できる!」と思ってすぐに書類を準備し、南アフリカのプレトリアにある日本大使館へ送りました。このとき、明確な理由は自分でもわかりませんが、採用となることを確信していました。

そして、そのとおりの結果を手に入れました。何千人もの中から47人だけが日本へ行くことになり、私にとって鳥取人になるのは縁だと思いました。

どこにあるの?

そのときにはまだ日本のことをよく知りませんでした。文部科学省の決定で私の勤務地は鳥取市になったのですが、私にとっては「鳥取?それどこ?」です。インターネットで調べてみたところ、鳥取県の妻木晩田遺跡^{むきばんだ}の写真が出てきました。



📷 「妻木晩田遺跡」

鳥取13年目

マーティン
バーナードさん

(南アフリカ出身 伯耆町在住)



私は、妻木晩田が米子市淀江町にあることすら知りませんでした。ただこの写真を見て、「いいところに行ってみよう!」と思ったことは今も覚えています。

「鳥取は、どう?」

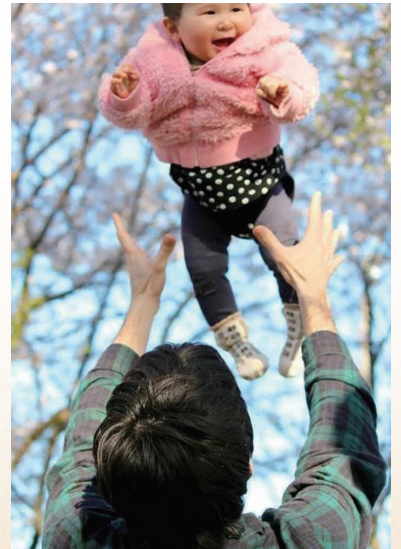
これは以前、私がよく聞かれた質問です。もちろんここに行っても、良いことも悪いこともあります。鳥取に来てカルチャーショックも受けましたが、私の性格に合う場所だと感じました。

私は学校で英語の先生として鳥取に来ました。でも日本語のレベルもゼロだったため、明らかに教えられることより学ぶことの方が多かったです。今もまだそうですが、「教えるは学ぶの半ば」です。

鳥取のことはすぐ好きになりました。自然はきれいだし、人は優しいし、食べものもおいしいし、ここは「いいねっ」と思いました。県内をよく移動することもあり、今は行ったことのない町はもうありません。日本語を勉強し、武道も習いました。

結婚して大山(妻木晩田の近く)にある家を買って、引っ越しもしました。子供にも恵まれました。

こうして鳥取は私の郷(さと)になりました。私の郷であり、家族の郷でもあるここで、自分の家族を守っていきたいと思います。



📷 「娘と花見に(2012年)」

民間交流 団体の紹介



とっとり青友会 会長 河崎 忠義さん

▲ 交流の様子

とっとり青友会は、主に内閣府の実施する青年国際交流事業の県内への受入れと、自主企画による交流活動を展開しています。外国青年を県内に受け入れる際には、鳥取の誇る文化、産業や素晴らしい自然などの紹介や、体験プログラムをメンバーで企画し、アテンドしています。鳥取県の滞在で、外国青年が最も印象深いと口を揃えるのはホームステイです。毎回、たくさんの暖かなご家庭に協力いただき、心のこもったおもてなしや日常生活に触れる経験をさせていただくことに

より、海外の青年が感動して事業を終えます。

今後もホストファミリーの皆さんにご協力いただきながら、世界中に鳥取ファンを増やしていきたいと思ひます。

お問い合わせ

とっとり青友会

f facebook : <https://www.facebook.com/groups/626093504845396/>

山陰・夢みなと博覧会記念基金 助成事業の紹介

「鳥取県・韓国江原道 障がい者スポーツ国際交流事業」(2019年11月21日～11月24日)

一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 会長 福留 史朗さん



2013年から始まった本事業も7回目となりましたが、日韓関係が厳しい中で江原道、障がい者バスケットボールチームを鳥取市に初めて招き交流を行いました。交流戦では両チームの素晴らしいプレーに国を越えて大きな拍手が起こりました。また、試合後に行った両国の混成チームでの練習試合は、言葉が通じなくともバスケットボールが誰もの心をつなぐことを感じました。

私は、開会式で「スポーツは人類共通の文化。多くの人々を感動させ熱い声援を生み、両地域の絆を強くする」と述べ、キム・ジュヨン江原道選手団長も「厳しい状況下こそ民間交流は拡大していくべき。交流の継続が国同士の関係改善にもつながる」と述べられるなど、国同士の様々な諸事情がある状況下でも、鳥取県と江原道が障がい者スポーツを通じてお互いの理解をより深め合うことや東アジアにおける障がい者スポーツの地域間交流を牽引する役割を果たすことを確認しました。

また、期間中は実務者間の協議を行い、交流の継続・発展はもちろんのこと、将来的には事業運営や交流の対象をスタッフなどにも広げ、交流を活性化していくなど新たな展望も開けた有意義な協議となりました。

当財団では、民間団体等が行う県民参加型の国際交流活動等に対して助成を行っています。交流をお考えの方は最寄りの財団事務所へご相談ください。

JICA
デスクより

世界はもっとおもしろい! ケニアの旅



ケニア派遣のJICA海外協力隊員が一時帰国を利用し、鳥取大学のケニア出身JICA研修員と協力してケニア料理講座を行いました。

トウモロコシの粉を熱湯でかき混ぜた「ウガリ」は、ケニアの伝統食であり、参加者も初めて食べる味にわくわくしていました。研修員にとっても鳥取でウガリを食べられると思っていなかったようで、久しぶりに食べるウガリに大満足の様子でした。そして、ケニアの暮らしやJICA海外協力隊の活動報告をしていただき、参加者からは研修員にも鳥取の印象や大学で学んでいることを質問するなど、活発な交流が行われました。

お問い合わせ

鳥取県JICAデスク (担当: 森木)

〒680-0846 鳥取市扇町21

鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)3階

TEL : 0857-51-1165 FAX : 0857-51-1175

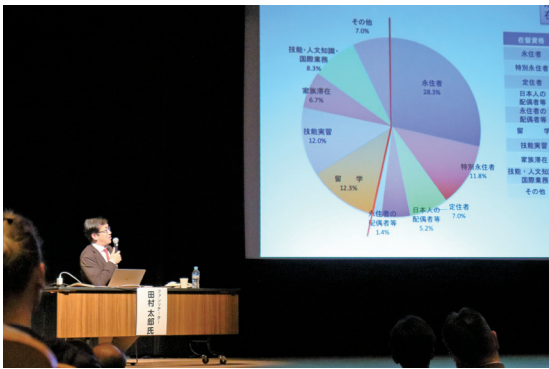
URL : <http://www.torisakyu.or.jp>

Eメール : jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

f facebook : <https://www.facebook.com/jica.tottori/>

Opening of Multicultural Forum in Yonago

The forum for multicultural synergy opened in Yonago City on Sunday, 16 February 2020. As the keynote address, the actress Sahel Rosa gave a moving speech on the power of interaction in our lives, presenting her own experiences and the different people who touched her life. This talk was followed by a panel discussion with three Tottori residents leading a discussion on life among foreign residents in Tottori Prefecture. The event concluded with information on multicultural symbiosis on the regional level for a global society, presented by Tamura Taro of the Institute for Human Diversity.



In Mr. Tamura's Talk:

- The need to secure personnel for interpreting and Japanese language education
- The importance of the skills brought to the region by foreign residents
- The importance of allowing foreign residents to provide their skills for the sake of making Tottori Prefecture a multicultural place
- Issues in multiculturalism for the region's future

Multicultural synergy and hopes for foreign residents to join in the creation of Tottori's future

Term 1 Japanese Language Classes

No fees (some sections may require purchase of textbook)

For more information contact your local TPIEF office (contact information on final page)

Area	Schedule			Location	
East (Head)	The start date will be after May 2020 in order to help prevent new coronavirus infections.	Sun	Basics 1	9:30-11:00	TPIEF Head Office (3F Fureai Kaikan, 21 Ogi-machi, Tottori City)
			Basics 2	11:00-12:30	
			Elementary 1 (Conversation)	13:00-14:30	Koureisha Fukushi Ctr. (2-104-1 Tomiyasu, Tottori City)
			Elementary 2 (kanji)		
			Intermediate	14:40-16:10	Sazanka Kaikan (2-104-2 Tomiyasu, Tottori City)
Japanese for Kids	13:00-16:00				
Central (Kurayoshi)	For further information or questions, please check the TPIEF website or contact your local TPIEF office.	Wed	Wednesday Class (Elementary)	13:30-15:00	Central Tottori General Office Annex (2 Higashiwaki-cho, Kurayoshi City)
		Sun	Sunday Class (Basics)	13:30-15:00	Tottori Pref. Kurayoshi Public Gym (529-2 Yamane, Kurayoshi City)
			Sunday Class (Elementary)	15:15-16:45	
West (Yonago)		Sun	Basics	10:15-11:45	Yonago Convention Center (294 Suehiro-cho Yonago City)
			Elementary		

We're always looking for volunteers to help with our Japanese language classes. If interested, please visit your local TPIEF office. (Roles include providing basic explanations of the material and joining table discussions with learners.)



▲Japanese class in the western region

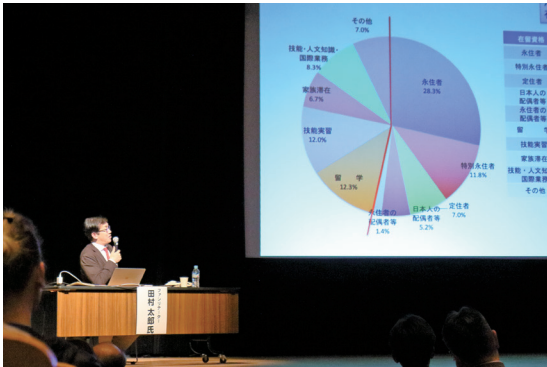
举办了「多文化共生研讨会 in 米子」!

2020年2月16日(日)于米子市举办了多文化共生研讨会。

首先,主题演讲部分我们邀请了女演员サヘル・ローズ(Sahel Rosa)さん以「人与人的相逢邂逅才是生存的力量」为主题、分享了她自身的成长经历,由于相逢邂逅而获得与人之间的心灵交流等让人印象深刻的演说。

接下来,我们请到了三位住在鸟取县内的朋友,以住在鸟取县内的外国出身人士一起生活为议题,分享了他们的意见。

最后,由多文化共生研究所的讲师田村さん总结说明了「于国际社会地区该有的方针及多文化共生的课题」。



～ 讲师田村さんの谈话内容 ～

- 翻译者以及日文教育支援者的人材确保是必要的
- 借助住在各地区的外国出身朋友的力量是重要的
- 鸟取县要实现多文化共生的社会,外国出身的朋友要有主人公意识很重要
- 多文化共生是为了各地区的未来而做的努力
希望外国人居民也要有「创造鸟取的将来我们有责」的理念,为多文化共生社会做出努力。

第一期 日语学习班的通知

上课费用:免费(根据班级不同有些需要购买教材)

咨询处:鸟取县国际交流财团 各事务所(联络方式请参阅最后一页)

地区	日	时间等	会场
东部 (本所)	日	基础1班	9:30-11:00 财团本所 (鸟取市扇町21 县民ふれあい会馆3F)
		基础2班	11:00-12:30
		初级1班(会话)	13:00-14:30 高齢者福祉センター (鸟取市富安2-104-1)
		初级2班(生活汉字)	
		中級班	14:40-16:10
儿童日语学习班	13:00-16:00 さざんか会馆 (鸟取市富安2-104-2)		
中部 (仓吉事务所)	三	周三班(初级)	13:30-15:00 鸟取县中部综合事务所 别馆 (仓吉市东严城町2)
		周日班(基础)	13:30-15:00
	日	周日班(初级)	15:15-16:45 鸟取县立仓吉体育文化会馆 (仓吉市山根529-2)
西部 (米子事务所)	日	基础班	10:15-11:45 米子コンパニオンセンター(米子市末広町294)
		初级班	

我们随时都在招募日语学习支援义工,欢迎有兴趣的朋友跟我们联络。
(日语学习支援义工指的是坐在学习者旁边,将老师的讲解做辅助说明并
与他们一起练习对话。)



▲日语学习班(西部)的状况



賛助会員募集のご案内

あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い参加のもとに、自立・参加型の国際交流事業を進めていくため、趣旨に賛同して下さる賛助会員を広く募集しています。「国際交流に興味はあるけれど何から始めればいいのか分からない」という方も、まずは当財団の賛助会員になられてみてはいかがでしょうか?皆様のご入会をお待ちしております。

入会対象者と年会費	● 個人会員	年会費 1口	2,000円
	● 学生会員(高校生以下)	年会費 1口	500円
	● 団体会員	年会費 1口	10,000円

◎ 会員期間は、毎年度4月1日から翌年の3月31日までです。
◎ 途中入会の場合、年会費は入会月に合わせて割引になります。

入会方法 財団の各事務所で入会を受けています。また、公共施設にも申込用紙を置いていますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

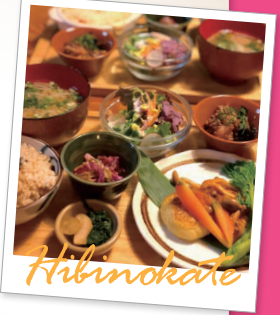


協力店を紹介します!★

日々の糧

肉、魚、卵、乳製品、化学調味料不使用の100%ビーガン^(※)料理で地球に負荷をなるべくかけない優しい暮らしをご提案。アレルギー対応も可能です。是非お出掛けくださいな。
※ビーガン…完全菜食主義者のこと

住所：米子市明治町197 ホテル真田2F
電話：(0859)34-3773
営業時間：11:00～15:00
17:00～21:00(ラストオーダー 20:30)
定休日：日曜日
ホームページアドレス：http://hibinokate.com



賛助会員
カードの提示で

お一人様1,000円以上の
食事で100円引き(4名様まで)

会員の 特典

- 財団機関紙「とっとり国際通信」の送付
- 財団図書の貸し出し増冊サービス (5冊/回→10冊/回)

- 提携飲食店、観光施設等における割引などのサービス (お店、語学・趣味・文化、観光施設等、旅行・宿泊)
- 提携旅行会社のパック商品等への優遇割引

ワールドレシピ! ~ World Recipe ~

世界の味を
あなたで味わおう!



今回の料理は

★ ベトナム
ポ ピア
Bo Bia



グエンギさん
(財団国際交流コーディネーター)

ベトナム人にとって親しみのある食べ物です。学校近くの屋台では生徒たちに人気のおやつなんです。作り方が簡単で短い時間でできるので、一般家庭でもよく作って食べます。

材料 (12分)

- カルパス(ドライソーセージ) 3本
- 大根・人参 550グラム
- たまご 4個
- レタス 1個
- 干しエビ 80グラム
- ライスペーパー 12枚
- ニンニク(みじん切り) 大きめ2片分
- 砂糖、お好みソース、ピーナッツバター、片栗粉、塩こしょう、酢、サラダ油、鷹の爪(みじん切り)、鶏がらスープの素(以下“スープの素”)

作り方

- ① 大根と人参は千切りにし(人参は50g別に残す)、スープの素(小さじ1.5)と砂糖(小さじ1)を混ぜて炒める。水分を取り除き、別の容器に移す。
- ② フライパンに水(80ml)を沸騰させ、カルパスを入れる。焼き色を付けて薄切りにする。
- ③ ボウルに卵、水溶き片栗粉(大さじ1)、スープの素(小さじ1)、塩こしょうを入れ、混ぜ合わせる。フライパンで薄焼き卵を作り、千切りにしておく。
- ④ ライスペーパーは、ざらざらした面を水で濡らし、濡れた面を上にする。そこにレタス、①、水で戻して炒めた干しエビ、薄焼き卵、カルパスを順に並べる。両端を内側に折り込み、棒状になるよう包み込む。

ソース

- ①で残した人参に砂糖と酢(各小さじ1)、塩少々を入れてよく混ぜ合わせる。
- フライパンでニンニクを熱した中にお好みソース(大さじ4)、ピーナッツバター(大さじ1)、水(大さじ1)を混ぜて火を止める。
- 鷹の爪を入れ、全て混ぜ合わせる。

本所

Head Office / 本所

〒680-0846
鳥取市扇町21番地 県民ふれあい会館3階
TEL:(0857)51-1165 FAX:(0857)51-1175
E-mail: tic@torisakyu.or.jp

〈利用時間〉

(平日) 9:00～18:00 (土・日) 9:00～17:30
祝日・年末年始はお休みです



倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802
倉吉市東蔵城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL:(0858)23-5931 FAX:(0858)23-5932
E-mail: tick@torisakyu.or.jp

〈利用時間〉

(平日) 8:30～17:15 土・日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉鎖する場合は、HPで随時お知らせします。



米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043
米子市末広町294 米子コンベンションセンター4F
TEL:(0859)34-5931 FAX:(0859)34-5955
E-mail: ticy@torisakyu.or.jp

〈利用時間〉

(平日・日) 9:00～17:30
土・祝日・年末年始はお休みです



配信中!

携帯版多言語メールマガジン
「TORIMO(トリモ)」

登録無料!

(英語、中国語、タガログ語、ベトナム語)



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

http://www.torisakyu.or.jp

